

「2006年6月1日から2019年7月30日までに当院で胸水検査を受けられた悪性胸膜中皮腫、肺癌、慢性胸膜炎患者さんへのお知らせ」

研究課題名：胸水貯留例における胸水中サイトカイン、可溶性免疫チェックポイント分子の解析

国立病院機構山口宇部医療センター呼吸器外科、腫瘍内科では、院内倫理委員会の審査・承認を得て、2006年6月1日から2019年7月30日までに当院において胸腔穿刺、胸膜生検時に検査目的で胸水を採取された悪性胸膜中皮腫、肺癌、慢性胸膜炎患者さんを対象に、胸水を用いた悪性胸膜中皮腫、肺癌、胸膜炎の診断法を確立すべく、本研究を立案しました。具体的には、当院で検査目的に採取され冷凍保存されている胸水残検体を用いて、胸水中のサイトカイン、可溶性免疫チェックポイント分子の濃度を網羅的に解析し、胸水検体のみでは診断が困難とされる悪性胸膜中皮腫、肺癌、胸膜炎の鑑別診断法の確立を目指します。さらに、胸水中のこれらの物質の濃度が悪性胸膜中皮腫の予後、治療効果と関連するかどうか調べます。これにより、胸水を調べることで、悪性胸膜中皮腫患者さんの予後や治療効果の予測が可能となるかもしれません。

本研究のために新たに血液や胸水、組織を採取することはありません。また、個人が特定できる情報も収集いたしません。胸腔穿刺や胸膜生検を受ける際に「治療や検査目的で採取された血液・組織などの医学研究及び教育への利用についての意思表示書」に御同意いただいた方が対象です。

この研究の研究資金には公的研究費である当院研究費ならびに平成31-令和3年度日本学術振興会科学研究費を使用します。

ご質問がある方、この研究に御自分のデータを使用されることに「不同意」とする方は下記連絡先までご連絡ください。

【お問い合わせ・連絡先】

研究責任者：国立病院機構山口宇部医療センター
呼吸器外科 沖田 理貴

電話 0836-58-2300 (代)
FAX 0836-58-5219